

## 自尊感情暴力理論 ～自分に向かう暴力の場合・そして連鎖～

金 香百合 (HEAL・ホリスティック教育実践研究所所長)

一回目には自尊感情（セルフエスティーム）のことを紹介しました。「私OK、あなたOK」の自他尊重の関係が実現し、互いの可能性を引き出しあうエンパワーがおこります。私たちがめざす「人権の文化」とは自尊感情（熱）とエンパワー（光）が循環する世界です。二回目には、自尊感情の低下から暴力がおこる問題を見てきました。特に暴力のなかでも、人に向かうものに焦点をあてました。私たち人間はからだの栄養やこころの栄養が不足してくると、人に対して暴力を向けます。それらは、肉体的暴力だけでなく、言葉の暴力、精神的暴力・性暴力・社会的暴力・経済的暴力など多岐にわたります。その暴力の程度もさまざまなレベルがあります。暴力のレベルが小さいうちに気づいて、栄養不足を解消する必要があります。でも実際には、我々の感覚がマヒしており、大きな暴力になるまで気づかないのです。

さて、今回は自分に向かう暴力です。①肉体的暴力……自殺、さまざまな依存症、自傷行為など、からだに悪いのはわかっているけどやめられない。現在、日本の自殺者は1998年以来年間3万人を越えています。中高年男性、高齢者、子どもの自殺が多いという特徴があります。依存症にはタバコ、酒、ギャンブルなどがあります。さらに薬物依存、摂食障害、携帯電話依存なども若者に広がっています。②言葉の暴力……日本では自分のことを否定的に語る人がたくさんいます。「自分なんて……」「自分にはいいところがない」「自分は無力だ」など、普段の生活の中にも自己否定的な言葉が溢れています。＜謙遜が美德＞という段階をとくに越えている状態です。③精神的暴力……抑うつ、ひきこもり、パニック。人間関係や生きることのつらさから自分の世界に閉じこもっていくことがおこります。④性暴力……極度の自己否定感の中で、自分のこ

ころもからだも利根的に投げ出していく子どもたち。ところで自分に暴力を向けるというのは、人間のもつやさしさなのかもしれないと私は思う時があります。自分に向かう暴力によってかろうじて自分の心身のバランスを保つことができている状態でもあります。自尊感情を奪われ続けるような厳しい環境の中で、その時の自分を生き延びさせるためのぎりぎりの選択肢だったと思います。

このように、人間は栄養不足から自尊感情が低くなると、しばしば暴力性が出てきます。暴力が人に向くときもありますし、自分自身にむかうときもあります。小さなレベルも大きなレベルもあります。こうした暴力には特徴があります。①連鎖する②弱いほうに向かう③拡大する、の三つです。最も典型的な例をみてみましょう。栄養不足の男性たちの暴力が自分に向かうと酒やギャンブルにおぼれ、うつや自殺がおこる。人に向けるときには弱い方にむくので、職場ではいじめやセクハラ。家庭では妻にDV、親に高齢者虐待。子どもに虐待。夫がそのような状態にあると妻たちもまた栄養不足から自己否定的になりやすく、一方で子どもに暴力が向かうことも。親がそのように暴力的な環境では、子どもたちもどんどん栄養不足になり、自傷行為やひきこもりや性逸脱。他方で年下やおとなしい子をねらってのなぐる・ける・どなる・差別発言・恐喝など。さらに小さく弱い弟妹や幼児、小動物にむけて暴力がむく。連鎖のたびに暴力が拡大していくような様相をみせます。これが私たちのすぐ足元で拡大している暴力の構図です。

1月15・16日にセルフエスティーム研究集会を開催します。

詳細は私のホームページで。

<http://homepage3.nifty.com/kimrin/>

そうぞう

2

2004.12\*No.11



### 困った時は 一人で悩まないで「人権週間における特設人権相談」

(財)大阪府人権協会と下記の市町村では、人権週間にあわせて、「人権に関わる相談窓口」を特設します。

#### ■人権週間特設 一ひゅーまんライツ法律相談—

女性・子どもの人権に関わる法律相談を実施します。

(無料・要電話予約)

**日時** 12月6日(月)～10日(金)(※土・日曜日をのぞく)  
13:30～16:30 18:00～21:00

**場所** (財)大阪府人権協会(大阪市浪速区久保吉1-6-12)

**電話** 06-6568-2983(先着制)

※毎週金曜日は定例相談(無料・予約制)を実施しています

#### ■市町村の人権週間特設人権相談

(無料)

・詳しくはお住まいの市町村  
にお問い合わせ下さい。